

守山市スポーツ推進計画策定協議会第 1 回会議開催結果について

開催日時：令和 3 年 7 月 30 日(金) 午後 7 時から午後 9 時まで

開催場所：守山市立図書館 多目的室

【各委員の主な意見】

①スポーツ実施率の向上について

- ・年齢層に応じた対応が必要。先進市の情報を収集し、成功事例から手立てを考えると良い。
- ・運動やスポーツを「する・しない」が 2 極化している。40 代、50 代は忙しく、また健康を維持する上で大事な時である。健康を観点にきっかけづくりや心理的なハードルを下げるのが重要。
- ・社会の在り方が変化しているため、働き世代や子育て世代の時間がなくなってきている。

②障害者スポーツについて

- ・障害者スポーツは障害者のするスポーツと考えられているが、健常者とともにできるスポーツであることの普及啓発や場所づくりが必要。

③子どもの運動について

- ・子どもがゲームをするようになり外遊びの時間が減少している。子どものスポーツに対する理解力や運動能力の低下が心配である。
- ・スポーツ少年団の団員数の減少は、陸上競技が含まれていないことや、クラブチームへの加入が増えていることが影響している。

④環境づくりについて

- ・テニスコートやエコパークなどハード面は充実してきている。
- ・地域により高齢化の進み具合やスポーツのできる環境(施設)が違う。地域での活動の場づくりが必要。

⑤情報発信について

- ・若い世代への情報発信(SNS 等)ができていない。本市出身のアスリートが知られていない。
- ・自治会単位での呼びかけをすると参加しやすい。

⑥総合型地域スポーツクラブについて

- ・小津クラブはスタッフの高齢化が進み、クラブの存続が難しい状況。今後は、文体事業団との連携や組織づくりをいかに行うかが重要。クラブ運営の継続にも、行政の支援が必要。
- ・吉身クラブにおいても、クラブ運営を担う人材の確保などの問題がある。また、コロナの影響で今年度の参加者が激減している。
- ・総合型広域スポーツクラブとして、参加や継続がしやすい教室を開催している。

⑦自治会の関わりについて

- ・子どもと高齢者がスポーツを一緒に楽しめる機会を増やし、自治会で底辺を広げていけると良い。